

第4期（平成27～29年度）

# 三瓶ブロックまちづくり計画

やすらぎの里 三瓶高原 ～一流の田舎を目指して～



三瓶ブロックまちづくり委員会

平成27年3月

## 目 次

第1章 第4期計画の改定にあたって	
（1）はじめに	・・・ 1～1
（2）計画の性格と構成	・・・ 1～1
（3）計画の期間	・・・ 1～1
第2章 地域の特徴	
（1）地域の概要について	・・・ 2～2
（2）人口及び世帯数について	・・・ 2～3
（3）地域資源について	・・・ 3～5
第3章 これまでの取組み	・・・ 5～6
第4章 地域の現状と課題	
（1）人口及び世帯数について	・・・ 6～7
（2）産業について	・・・ 7～8
（3）医療・福祉について	・・・ 8～9
（4）基盤整備について	・・・ 10～10
（5）教育について	・・・ 10～12
（6）防犯・防災について	・・・ 12～12
第5章 課題を解決するための活性化策	
（1）まちづくりの基本方針	・・・ 12～13
（2）計画の推進にあたって	・・・ 13～14
第6章 第4期 まちづくり事業リスト（H27～H29）	・・・ 15～15
第7章 まちづくりの体系	・・・ 17～17

本計画では、町名等について、次のように統一した表記とする。三瓶町池田・三瓶町小屋原→池田、三瓶町志学・三瓶町上山→志学。北三瓶とは、三瓶町野城・三瓶町多根・山口町とする。

## 第1章 第4期計画の改定にあたって

### (1) はじめに

三瓶地域では、これまで、平成18年に三瓶まちづくり委員会が策定した「三瓶地域まちづくり計画書」に基づき、まちづくりを進めてきました。

平成21年度からは、新しいまちづくり体制がスタートし、池田に三瓶地域全体を包括する三瓶公民館とまちづくり支援センターが設置され、池田、志学、北三瓶にまちづくりセンターが、多根に北三瓶まちづくりセンター分館が設置されました。三瓶まちづくり委員会、三瓶公民館、各まちづくりセンター、まちづくり支援センターが、連携を密にし、三瓶地域の振興に向け様々な取り組みを進めてきました。(支援センターは、平成23年度をもって廃止し、本庁に支援担当を配置しました。)また、地域においても、新たなまちづくり団体が結成され、活発な活動を展開してきました。

この度、三瓶まちづくり委員会では、3期9年間の取組みを検証し、更に、これからの三瓶地域のまちづくりについて、当初計画からの地域情勢の変化等を勘案し、「第4期三瓶ブロックまちづくり計画」を策定しました。

### (2) 計画の性格と構成

#### ①計画の性格

本計画は、大田市協働によるまちづくり推進事業実施要綱第6条の規定に基づく地域振興計画であり、三瓶地域の持つ特性や貴重な資源を住民自らの知恵と力で有効活用し、地域の一層の発展と住民の生活向上を目指す今後3年間の具体的な取り組みの基本的方向を明らかにするものです。

#### ②計画の構成

本計画は、「地域の特色」、「これまでの取組み」、「地域の現状と課題」、「課題解決するための活性化策」、「第4期まちづくり事業リスト」及び「まちづくりの体系」により構成します。

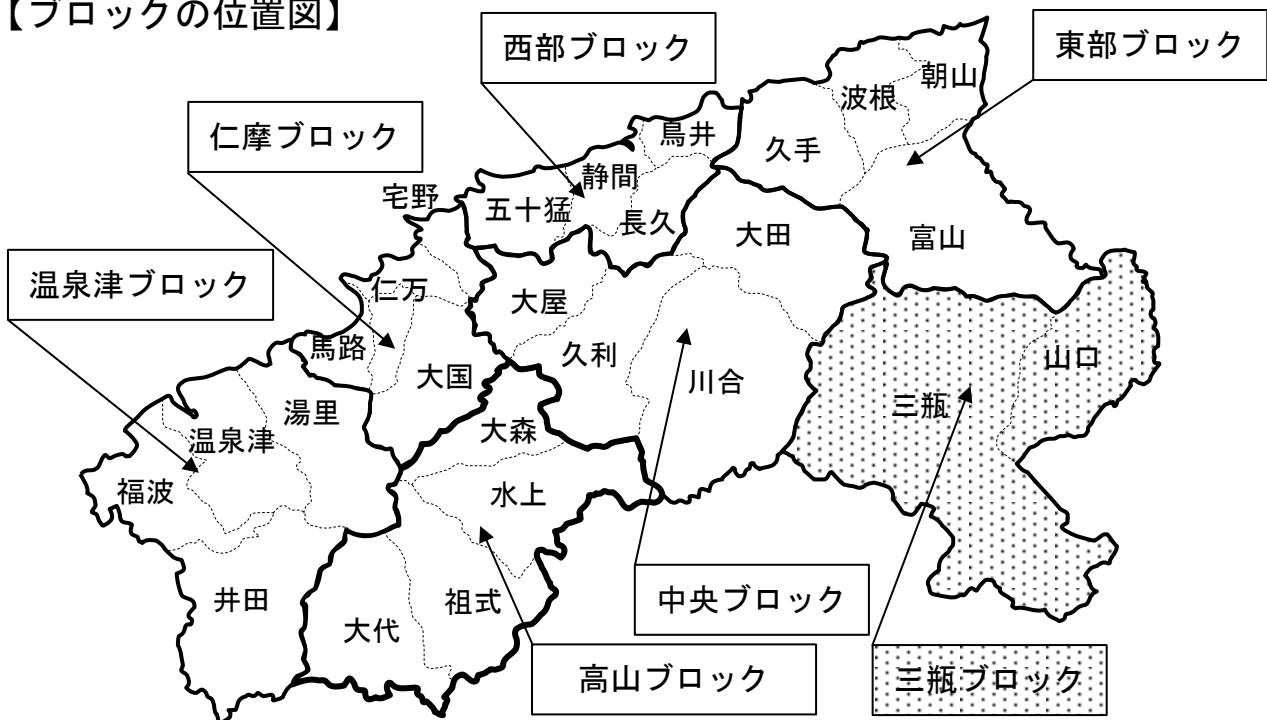
### (3) 計画の期間

本計画は、平成27年度から平成29年度の3年間とします。

## 第2章 地域の特徴

### (1) 地域の概要について

#### 【ブロックの位置図】



三瓶地域は、大田市の南東部に位置し、池田・志学・北三瓶地区からなる面積 89.02 km<sup>2</sup>の地域です。市役所本庁からは、池田までは約 10 km、志学までは約 19 km、多根までは約 13 km、山口までは約 16 kmの距離にあります。

面積の大半は、大山隠岐国立公園「三瓶山」などの山林原野が占めており、神戸川水系と静間川水系に分かれる河川は、山間地を縫うように走っています。

日本海型気候に属する当地域の気候は、山間地域ということもあり、冬にはかなりの降雪に見舞われ、根雪は4月まで続きます。また、地質的には白山火山帯に属し、温泉に恵まれています。

### (2) 人口及び世帯数について

平成7年の国勢調査時から5年ごとに人口が約200人、世帯数では20～30戸ずつ減少しています。年少人口比率（人口に対する15歳未満の割合）の低下、高齢化率（人口に対する65歳以上の割合）の上昇が顕著となっており、少子高齢化が進んでいます。また、世帯数の減少から集落機能の低下が懸念されるとともに、小規模高齢化集落（※）も増えつつあります。

将来推計人口は、平成22年から10年ごとに約22%の割合で減少傾向にあり、高齢化率は、平成32年に50%を超え、平成37年には、53%を超える推計となっています。

※ 小規模高齢化集落とは、65歳以上の住民が占める高齢化率が50%以上で、か

## つ世帯数が 20 戸未満の集落

【地区別人口・世帯数】

各年 10 月 1 日現在（単位：人、世帯）

地区別	平成 17 年				平成 22 年				増減 H22/H17	
	人口			世帯数 x	人口			世帯数 y	人口 b/a	世帯数 y/x
	総数 a	男	女		総数 b	男	女			
三瓶町 池田	1,015	457	558	308	934	426	508	292	92.0%	94.8%
〃 志学	687	317	370	266	628	295	333	262	91.4%	98.5%
〃 多根	274	118	156	89	242	104	138	82	88.3%	92.1%
山口町	364	177	187	127	327	154	173	118	89.8%	92.9%
ブロック 小計	2,340	1,069	1,271	790	2,131	979	1,152	754	91.1%	95.4%
旧大田市 小計	32,337	15,079	17,258	11,463	30,364	14,245	16,119	11,196	93.9%	97.7%
大田市 合計	40,703	18,897	21,806	14,804	37,996	17,761	20,235	14,312	93.3%	96.7%

資料：国勢調査

### 【ブロック将来推計人口】

(人口：人)

平成 17 年 国調人口		平成 22 年 国調人口		平成 27 年推計		平成 32 年推計		平成 37 年推計				
				人口	対 H22	人口	対 H22	人口	対 H22			
男	1,069	男	979	男	895	△9%	男	787	△20%	男	671	△31%
女	1,271	女	1,152	女	1,053	△9%	女	872	△24%	女	715	△38%
計	2,340	計	2,131	計	1,948	△9%	計	1,659	△22%	計	1,386	△35%

### 【高齢化率の推計】

(65 歳以上の人口：人)

	平成 27 年推計	平成 32 年推計	平成 37 年推計
男	361	340	308
女	569	508	429
計	930	848	737
高齢化率	47.7%	51.1%	53.2%

(※将来推計人口は、平成 17 国勢調査と平成 22 国勢調査により、「コーホート変化率法」と「婦人子ども比」を使用し推計)

### (3) 地域資源について

#### ①自然

三瓶地域のシンボルである三瓶山は、海拔 1,126m の男三瓶を主峰に 6 つの峰が環状に連なる女性的な山で、昭和 38 年に国立公園に指定されました。

豊かな自然に恵まれ、四季を通じて登山、スキー、キャンプ、森林浴を楽しむことができるほか、レンゲツツジやオキナグサ、三瓶に生息するウスイロヒョウモンモドキ（蝶）等の貴重な動植物の観察ができます。

## ②歴史

三瓶山は、国引き神話で知られています。古くは、「佐比売山」と呼ばれていましたが、726年に「三瓶山」に改められました。

三瓶にまつわる伝説や言い伝えは数多く、人々の生活に深く関わっていたことがうかがえます。戦国時代から明治初期にかけ、「日ノ平たたら」に代表されるたたら製鉄が貴重な収入源であったとともに、砂鉄や木炭の供給等で周辺地域との交流も盛んに行われました。

## ③文化

当地域は、旧石見国に属する三瓶町（池田、志学、多根）と旧出雲国に属する山口町に大別されますが、各国の特徴を持つものや文化を融合したもの等、独自の行事や芸能が伝わる文化性の高い地域です。また、各地区には由緒ある寺社や経塚史跡公園の梶谷円隣斎の墓等、文化遺産が点在し、住民の手により大切に守られています。

### 【伝統行事・伝統芸能、史跡、文化財等】

町名	伝統行事・伝統芸能	史跡・名勝	文化財等
三瓶町池田	・小笠原近重流、池田、 小屋原田植え囃		・ 定め松 ・ 本宮神社大杉
三瓶町志学	・ 神代神楽	・ 経塚史跡公園	・ 小豆原埋没林
三瓶町多根	・ 多根神楽（無形民俗文化財） ・ 大元祭（7年ごと）	・ 稚児滝・要害山 ・ 円城寺境内	・ 姫逃池カキツバタ群落 ・ 三瓶山自然林
山口町	・ 佐津目神楽（獅子舞） ・ 秋の例大祭（花車）		（いずれも天然記念物） ・ 浄善寺イチョウ
三瓶地域全体			・ 山口町歴史伝承館

## ④産業

三瓶地域の就業人口は、平成22年の国勢調査によると1,009人となっており、平成12年の国勢調査と比べ423人（29.5%）減少、平成17年の国勢調査と比べ196人（16.3%）減少しています。

平成22年の人口の割合は、第1次産業21.0%、第2次産業23.7%、第3次産業55.3%となっており、第1次産業及び第2次産業の割合が減少した反面、第3次産業の割合は増加傾向にあります。

主な産業としては、農林業と観光が特徴的といえます。とりわけ、国立公園三瓶山や温泉など豊かな自然を有していることから、四季を通じて登山、キャンプ、森林浴が楽しめ、大田市を代表する観光地となっています。

◆産業(3部門)別就業者・割合、従業上の地位(2区分)別割合

平成22年

地 域	産業3部門別 就業者			従業上の地位別割合	
	第1次	第2次	第3次	雇用者	自営業主・ 家族従業者
大田市	1,985	4,765	11,130	80.4	19.6
〔旧大田市〕	1,563	3,764	9,163	81.2	18.8
(佐比売村)	171	205	490	74.4	52.6
〈池田〉	59	117	239	81.5	18.5
〈志学〉	73	65	182	67.0	33.0
〈多根〉	39	23	69	69.7	30.3
(山口村)	41	34	68	66.4	33.6

平成17年

大田市	2,468	5,309	11,804	76.9	23.1
〔旧大田市〕	1,945	4,184	9,707	77.7	22.3
(佐比売村)	219	269	523	68.6	31.4
〈池田〉	73	156	246	74.9	25.1
〈志学〉	90	85	194	64.2	35.8
〈多根〉	56	28	83	60.5	39.5
(山口村)	74	36	84	51.5	48.5

平成12年

大田市	3,010	6,544	11,332	74.3	25.7
〔旧大田市〕	2,438	5,188	9,312	75.0	25.0
(佐比売村)	333	325	548	64.8	35.2
〈池田〉	152	183	245	65.7	34.3
〈志学〉	115	106	224	64.7	35.3
〈多根〉	66	36	79	61.9	38.1
(山口村)	78	62	86	56.2	43.8

資料:国勢調査

### 第3章 これまでの取組み

三瓶地域では、平成18年に策定した「三瓶地域まちづくり計画書」に基づき、毎月、三瓶まちづくり委員会を開催し、少子高齢化や人口減少による集落機能の低下など地域課題の解決に向けた取組みを進めてきました。

第4期の計画書改定に向けて、これまでの9年間（1期～3期）の取組みについて検証

してみました。

この9年間、まちづくりの「テーマ」を自然と人の暮らしが調和した潤いと癒しを提供する『やすらぎの里 三瓶高原 ～一流の田舎を目指して～』と定め、人と人とのつながりを大切に、また一人ひとりの人権を尊重し、守ることをまちづくりの基本理念として、まちづくりを展開してきました。

三瓶ブロック内のまちづくり組織としては、平成23年に「さんべ女子会」が立ち上がり、三瓶の食文化や地域情報の発信を行っています。また、平成24年に、野城、多根、山口を範囲とする新たなまちづくり組織「北三瓶よろず会」が設立され、北三瓶地域をより元気なまちにすることを目指し活動しています。一方、平成26年に、志学地域において6次産業を目指す女性グループ「志学さくらの会」が新たに設立されるなど、ブロック内のまちづくり体制に大きな動きが出てきました。

以下、まちづくりの基本方針に沿って、概要を記します。

#### ① やすらぎと安心のまちづくり

ブロック内において、新たな自主防災組織が設立され、また、それぞれの自主防災組織が活発に活動することにより、三瓶地域の安心して生活できる環境づくりが進んできました。通信関係では、携帯電話不感地域が解消されるなど、生活環境整備も進みつつあります。一方、福祉タクシー事業については、地域によって活用にはばらつきがあり、今後の検討が必要です。

#### ② 資源を守り育て活かすまちづくり

三瓶山を中心とした三瓶ブロックの、豊かな自然、古くから伝承されている伝統文化や歴史を守る活動が、地道に継続されています。特に浮布池周辺の環境整備は、地域ぐるみで美しい三瓶の自然を守っている特記すべき活動です。また、志学地域においては、6次産業を目指す女性グループが新たに設立されるなど、明るい話題もあります。しかしながら、空き家対策については、空き家調査は実施したものの、空き家の有効活用には至っていません。温泉の活用、三瓶ブランド米、山菜の普及等についても、引き続き継続的な取り組みが必要です。

#### ③ 活発に交流するまちづくり

これまで、志学の桜の里応援ツアー、池田の田植え・稲刈り体験ツアー、北三瓶の食体験ツアーを実施し、交流人口の拡大と三瓶の情報発信を行うことができました。

総じて、1期～3期の9年間における三瓶ブロックのまちづくりについては、着実に成果が上がっており、まちづくりのテーマに一步近づいたと評価できます。

## 第4章 地域の現状と課題

### (1) 人口及び世帯数について



「人口及び世帯数の推移」からもいえるように、三瓶地域における少子高齢化、集落崩壊の問題は年々深刻化しています。それらの要因となる人口減少に歯止めをかけるには、住み良い環境づくりと定住対策等が重要となります。その手法としては、ブロック全体の共通の課題といえる空き家（地）対策や遊休施設対策等に取り組む必要があります。

また、グリーンツーリズムの推進により、交流から長期滞在、定住へと一貫した取り組みも必要です。

その他、結婚対策や組織の見直し等も必要とする声が高まっています。

## (2) 産業について

### ① 農林業の状況

三瓶の農家のうち専業農家の割合は27.7%で、兼業農家が主流となっています。いずれも農業従事者の後継者不足が否めず、集落営農組織等の農業法人設立と耕作放棄地等の休耕田利用の必要性が高まっています。

土地改良ほ場整備は、志学地区、北三瓶地区が事業完了しており、池田地区についても、一部が完了しています。

今後も農作物の作付地域の集約化や作業の効率化を図るとともに、三瓶の自然環境、地域性を活かした特産品をつくり、地産地消を推進し、6次産業化も検討していきます。

#### ◆ 旧町村別農家数・農家人口・経営耕地面積・経営耕地面積規模別農家数（販売農家）

平成22年2月1日現在

旧町村名	農家数（戸）				農家人口（人）			経営耕地面積（a）			
	総数	専業	兼業		総数	男	女	総数	田	畑	樹園地
			第1種	第2種							
三瓶町	215	50	23	142	788	391	397	20,232	13,142	6,578	512
（池田）	105	20	8	77	401	205	196	7,520	6,453	973	94
（志学）	75	22	12	41	260	129	131	9,805	4,704	4,743	358
（多根）	35	8	3	24	127	57	70	2,907	1,985	862	60
山口町	63	27	4	32	205	102	103	8,126	5,811	2,109	206

注：販売農家＝経営耕地面積が30アール以上又は、農産物販売金額が50万円以上の農家。

資料：2010年世界農林業センサス

### ② 観光の状況

世界遺産石見銀山遺跡や出雲大社の平成の大遷宮により、島根に対する関心が高まり、当市を訪れる観光客も増加傾向にあります。

この機会に観光客を三瓶に誘致するには、受け入れ体制整備が必要であるとともに、集客イベントの拡充と農業体験や園芸講座等ができる農園の整備についても検討し、お金の落ちる仕組みを構築する必要があります。

さらには、老朽化した施設の整備や観光スポットの維持整備も課題となっています。

### 【入り込み客状況】

(人)

	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年
三瓶山	579,500	592,000	613,200	587,800	673,542
大田市全域	1,561,900	1,573,600	1,511,889	1,434,135	1,556,339

資料：観光振興課

### (3) 医療・福祉について

#### ① 医療

三瓶地域内の医療施設は、池田診療所、三瓶診療所及び山口診療所があります。しかし、診療科は限られており、市立病院と連携した医療体制の充実も求められています。

#### ② 高齢者福祉

当地域は、高齢化比率が高く、地域の助け合いにも今後大きな課題を抱えています。そのような中であっても、まちづくりセンター、集会所においてサロン活動、健康教室、介護予防教室など独自の活動も活発に行われ、また、高齢者の野菜づくり、みそ、漬物などの販売活動もあり、地域の中での交流は盛んでいきいきとした活動も多くあります。

三瓶地域には特別養護老人ホーム「さわらび苑」があり、地域住民との交流も積極的に行われています。

一方、高齢者の独居世帯の増加、高齢者の引きこもり等の課題に対して、地域で高齢者が集うやすらぎの場の確保、充実がいっそう求められています。

## ◆福祉関係の統計数値

平成 26 年 4 月 1 日現在

区 分	池田	志学	多根	山口	ブロック 計	大田市 計
世帯数 a	398	277	92	144	911	16,096
人口 b	893	636	238	335	2,102	37,568
65 歳以上人口 c	415	296	103	146	960	13,449
高齢化比率 d=c/b	46.5%	46.5%	43.3%	43.6%	45.67%	35.8%
独居老人数 (=世帯数) e	56	74	13	18	161	3,166
独居老人比率 (対世帯数) f=e/a	14.1%	26.7%	14.1%	12.5%	17.67%	19.7%
独居老人比率 (対人口) g=e/b	6.3%	11.6%	5.5%	5.4%	7.66%	8.4%
独居老人比率 (対 65 歳) h=e/c	13.5%	25.0%	12.6%	12.3%	16.77%	23.5%
6 歳未満人口 j	25	15	8	10	58	1,573
幼年者比率 k=j/b	2.8%	2.4%	3.4%	3.0%	2.8%	4.2%

出典:大田市市民課／社会福祉課

## ③ 児童福祉

保育園は、平成 25 年 3 月末に無認可の北三瓶保育園が閉園となり、当地域の保育園は、公立保育園の池田保育園と認可保育園の私立志学保育園の 2 園となりました。

園児数は、平成 26 年 4 月 1 日現在、池田保育園 18 名、志学保育園 12 名で、減少傾向にあり、保育園のあり方も今後の検討課題となっています。

## ◆保育所園児数

平成 26 年 4 月 1 日現在

町別	施設名	区分	定数	在園児数
池田	池田保育園	大田市立	20	18
志学	志学保育園	私立	20	12

資料:大田市子育て支援課

## (4) 基盤整備について

### ① 道路

主要地方道は、三瓶山公園線、大田佐田線、川本波多線があり、これらに一般県道や市道等が連結しています。いずれの道路もカーブが多く幅員も狭い状況となっており、道路沿道を覆う木々が大型車の通行の妨げとなっています。

地域住民からは、池田久手停車場線をはじめとする生活関連道路や観光ルートの拡幅改良はもちろんのこと、三瓶山周遊道路の整備、世界遺産登録された石見銀山遺跡とのアクセス道整備も求められています。

また、枝打ちや除草作業、積雪時の除雪の効率化も求められています。

### ② 交通機関

公共交通機関は、石見交通株式会社が運行する路線バスしかなく、住民の交通手段は限定されています。近年は、自家用車の普及によりバスの利用者が減少し、全ての路線で運行便数が減少しています。利用者からは、バスの増便とニーズに対応した交通手段が求められています。

また、市外から訪れる観光客が利用しやすいバスの検討など、観光機能の充実が求められています。

### ③ 通信

三瓶地域内には、携帯電話の不感地域があり、防犯や防災上の不安、定住促進の妨げとなっています。引き続き、難視聴対策等、情報過疎地とならない対策が必要です。

### ④ 上水道及び下水道

給水人口（平成25年度末現在）は、池田183人、志学504人、多根51人、山口0人という状況ですが、それ以外の水源については、それぞれ独自の対応をしています。

また、地域の大切な自然環境を守るには、公共下水道の整備が必要です。平成25年度に大田市下水道基本構想の見直しがあり、これまで計画されていた、池田農業集落排水施設、小屋原農業集落排水施設及び志学特定環境保全公共下水道についても、平成26年4月1日から、市設置型合併浄化槽により対応することとなりました。（三瓶地域の全域が、市設置型合併浄化槽の地域となります。市設置型合併浄化槽の制度は、既存の浄化槽も対象となります。）

## (5) 教育について

社会教育の拠点として、三瓶公民館が設置されています。公民館が「まちの力」となり、「学校・家庭・地域」をつなぎ、地域づくりに役立つ「社会教育」が推進できるよう各事業を実施し、協働によるまちづくりを担う人材育成を行います。

小学校は、池田、志学、北三瓶に、中学校は、志学、北三瓶に設置されています。  
いずれも児童数は減少傾向にあり、推計においても、子どもたちの減少が予測されます。

また、三瓶地内には、大田市山村留学センターや国立三瓶青少年交流の家が設置されており、地域間（都市）交流の推進と子どもたちの育成に力を注いでいます。今後もこれらの教育施設の利活用を積極的に進めていく必要があります。

◆小中学校の児童・生徒数及び学級数の一覧

①小学校

毎年5月1日現在

小学校名	上段：学級数、下段：児童数			
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
北三瓶小	3	3	3	3
	29	26	24	20
志学小	4	4	5	5
	20	23	21	22
池田小	3	4	4	3
	31	34	31	28
三瓶ブロック計	10	11	12	11
	80	83	76	70
小学校計	124	122	116	120
	1,787	1,794	1,770	1,733

資料：大田市教育委員会総務課

## ②中学校

毎年5月1日現在

中学校名	上段：学級数、下段：生徒数			
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
北三瓶中	3	3	3	3
	19	20	18	18
志学中	5	4	4	3
	15	14	15	14
池田中 ※1	2	1		
	9	3		
三瓶 ブロック計	10	8	7	6
	43	37	33	32
中学校計	48	48	46	45
	937	922	918	895

資料：大田市教育委員会総務課

※1 平成25年3月31日、池田中が第一中との統合により閉校

## (6) 防犯・防災について

駐在所は、池田、山口に設置され、防災関係機関は大田消防署三瓶出張所のほか、池田、志学、多根、山口にそれぞれ消防分団が設置されています。

市内で最も広い面積で、起伏の多い当地域では、緊急時の対応に不安があり、年々増え続ける事件や事故、災害等の対応策を求める声が高まっています。

最近では、まちづくりセンターを中心とした見守り活動等も実施されていますが、自主防犯組織や自主防災組織のさらなる組織化も必要となっています。

## 第5章 課題を解決するための活性化策

## (1) まちづくりの基本方針

三瓶地域は、まちづくりの「テーマ」を自然と人の暮らしが調和した潤いと癒しを提供する『やすらぎの里 三瓶高原 ～一流の田舎を目指して～』と定め、新たなまちづくりを展開していきます。

市内でも特に少子高齢化が進んでいる当地域においては、人と人とのつながりを大切に、また一人ひとりの人権を尊重し、守ることをまちづくりの「基本理念」とします。

この基本理念を念頭に、高齢者を守り高齢者の知恵と経験を活かした取り組み、地域の将来を担う子どもたちの育成、そして、三瓶の自然保護と観光振興など、優れた人材や豊かな自然資源、古くから継承されてきた伝統文化、周辺に整備された観光施設等を活かし、次の3点をまちづくりの「基本方針」に掲げ、地域課題の解決に向けたまちづくりを推進します。

### ① やすらぎと安心のまちづくり

少子高齢化が市内でも特に顕著な三瓶地域では、住民だれもが、尊重し、支え、助け合う、子どもから高齢者まで全ての世代がやすらぎ、安心して生活できる環境づくりを目指します。

### ② 資源を守り育て活かすまちづくり

三瓶地域は、三瓶山を中心に、豊かな自然、古くから育まれ受け継がれて来た伝統文化や歴史、地域に根ざした小規模ながら多彩な産業に恵まれた地域です。これらの様々な資源を積極的に守り、育て、活かす取り組みを展開します。

### ③ 活発に交流するまちづくり

三瓶地域の良さを住民一人ひとりが理解し、誇りと愛着を持って地域の魅力と価値を創造し続けることが大切です。そのためには、積極的に情報発信を行い、人、モノの交流を推進します。

## (2) 計画の推進にあたって

3つの基本方針に基づき、本計画の目標を達成するためには、次に掲げる事項を住民の共通理解のもと、その推進に努めることとします。

### ① やすらぎと安心のまちづくり

#### 1) 高齢者福祉

三瓶地域の高齢者が生き生きと安心して生活できるよう、高齢者に対する福祉の増進に努めます。

#### 2) 子育て支援

三瓶地域において、次代を担う子どもたちが、すこやかに成長できる施策の推進に努めます。

#### 3) 防犯防災

安心して暮らせるまちづくりを進めるため、研修会や防災訓練等を実施し、防犯、防災意識の醸成と災害に強いまちづくりを進めます

#### 4) 生活環境整備

誰もが心豊かに生活できるよう、道路、水道等のインフラ整備に努めます。

#### 5) 人権・男女共同参画

住民一人ひとりが主役となるまちづくりを推進するため、誰もが人権を尊重し、互いを思いやる気持ちの醸成を図ります。

地域の人口の過半数は女性でありながら、その能力が十分に活かされていません。女性が積極的にまちづくりに参画でき、いきいきと活躍できる仕組みをつくります。

## ② 資源を守り育て活かすまちづくり

### 1) 資源の活用

三瓶地域には、活用されずに埋もれた地域資源がたくさんあります。負産を資産に変えるしくみ作りも大切です。特に、空き家、空き地、遊休施設の活用を推進し、地域の“なりわい”へとつなげていきます。

### 2) モノ（特産）づくり・景観美化

地域の産業振興は、「まちづくり」の基本です。三瓶地域の農業者が、農産物等の生産だけでなく、1次産品に付加価値をつけ直接消費者に提供するトータル産業（6次産業）を目指します。

## ③ 活発に交流するまちづくり

### 1) 都市交流

山村留学を推進するとともに、UIターン等、定住環境の整備を図ります。また、地域おこし協力隊等の制度の活用に努めます。

### 2) 情報発信

ホームページ等を活用し、三瓶地域の情報発信に努めます。

### 3) 施設等の整備

三瓶地域の活性化のため、各種施設の整備を行います。また、浮布池周辺整備についても、引き続き実施します。

### 4) 基盤整備

三瓶地域をとりまく道路網の整備・観光産業の誘致等についても、関係機関に働きかけます。また、三瓶で最も誇れるものと言えば「三瓶温泉」です。近年、若い世代にも温泉ファンが多くなっています。三瓶温泉が以前のような賑わいを取りもどし、温泉を核としての地域振興を図ります。



第6章 第4期まちづくり事業リスト

事業名	第4期 (H27～29年度)						新・継	備考
	事業計画							
	内容	H27	H28	H29				
1 やすらぎと安心のまちづくり								
(1) 高齢者福祉								
①健康づくり教室の開催	「健康と運動」についての講演を聞き、知識を学び、意識を高め、健康への実践へつなげる。	○	○	○	H25～	継続		
(2) 防犯防災								
①防災活動推進事業	防災用品の整備、防災意識の普及により、安心のまちづくりを行う。	○	○	○	H24～	継続	防災用機材購入事業	
(3) 人権・男女共同参画								
①人権研修会	人権研修会を開催することにより、個人の意識啓発を図り、地域全体の人権意識の高揚につなげる。	○	○	○	H22～	継続		
2 資源を守り育て活かすまちづくり								
(1) モノ（特産）づくり・景観美								
①山菜の栽培事業	山菜を三瓶の各地域の畑等で栽培し、地域の特産品になるよう取り組みを進める。	○	○	○	H23～	継続		
②6次産業化支援事業	三瓶地域の農産物等の6次産業化を目指し、加工及び商品化に取り組む。	○	○	○	H26～	継続	H26は先進地視察を実施。	
③地元イベント活性化事業（雪あかり・桜の里応援事業）	雪あかり・桜の里応援事業等の地域イベントを支援し、地域の活性化を図る。	○	○	○	H20・26	実施	雪あかりは、H26～	
3 活発に交流するまちづくり								
(1) 都市交流								
①米づくり体験ツアー	田植え・稲刈りツアーを実施。三瓶の魅力を発信し、交流人口の増加を目指す。世代間交流を図るとともに、地元料理の技や味の伝承を行い、三瓶の食文化を守る。	○	○	○	H26～	継続		
②北三瓶夏祭開催事業	北三瓶夏祭りの内容を充実させ、地域の活性化を図る。	○	○	○	H27～	新規		
(2) 情報発信								
①地域情報収集発信事業	地域の情報を広く収集し、ホームページを活用し情報発信を行う。	○	○	○	H24～	継続		
(3) 施設等の整備								
①浮布池周辺整備事業	憩いと交流の場として、潤い、癒し、安らぎが感じられる環境づくり（草刈り・植樹等）を実施する。	○	○	○	H25～	継続		
(4) 基盤整備								
まちづくり委員会研修事業	まちづくりの先進地視察研修を行なう。	○	○	○	H27～	新規		

## 第7章 まちづくりの体系

### テーマ：やすらぎの里 三瓶高原

#### (1) やすらぎと安心のまちづくり

①高齢者福祉	
a	福祉タクシー事業
b	有償ボランティア（介護、環境等）
c	げたばきヘルパー（安否確認）
d	ケアハウスの設置
e	ミニデイサービスセンターの設置
f	やすらぎサロンの設置（ひきこもり対策）
g	敬老会の連携
h	医療体制の連携
②子育て支援	
a	なんでも体験塾（食育、歴史、自然を学ぶ）
b	放課後子ども教室及び放課後児童クラブの設置
c	スポーツクラブの充実
d	登下校の利便確保
e	保育施設のあり方検討
f	学校のあり方検討
③防犯防災	
a	自主防犯防災組織の充実
b	防災意識の啓発（講演会の開催等）
④生活環境整備	
a	携帯電話不感地域の解消
b	上水道・浄化槽の整備推進
c	市道、県道の改良、除草、除雪
d	地域運営店舗経営
e	コミュニティ組織等の見直し再編
⑤人権・男女共同参画	
a	人権意識の啓発
b	男女共同参画の推進

### ～一流の田舎を目指して～

#### (2) 地域の資源を守り育て活かすまちづくり

①資源の活用	
a	空き家・空き地・遊休施設活用事業
b	温泉の活用（三瓶温泉街の核的施設の建設と環境整備）[健康増進施設、鶴の湯、足湯、持ち帰り給湯場、温泉の滝、駐車場の整備]
c	休耕田利用（集落営農組織の設置等）
d	地産地消の取り組み
e	伝統芸能の育成
f	人材バンク
g	各種助成事業の活用
②モノ（特産）づくり・景観美化	
a	三瓶地域の産業振興
b	6次産業化への取り組み
c	三瓶ブランド米づくり
d	名物料理づくり
e	果樹・山菜の植栽
f	ふるさと便の取り組み
g	花づくり・桜の里づくり事業

#### (3) 活発に交流するまちづくり

①都市交流	
a	山村留学の推進
b	グリーンツーリズム 田舎体験、農業体験・農家民泊（農家、温泉、食堂の連携）
c	長期滞在施設（クライנגアルテン）の整備
d	オーナー制度
e	出会いの場づくり（結婚対策等）
f	集落支援員、地域おこし協力隊の制度導入
g	定住環境の整備
②情報発信	
a	ホームページの充実
b	サイン、案内板、マップ等の設置（観光資源の連携）
c	広報誌の発行
③施設等の整備	
a	産直市の整備
b	観光スポット（絶景ポイント）の整備及び維持管理
c	浮布池周辺整備（浮布池遊歩道、グランドゴルフ場、草花（山野草）の展示園、浮布広場の整備）
④基盤整備	
a	道路網の整備
b	石見銀山との交通網整備
c	観光産業誘致の環境整備（三瓶自然村（仮称）含む）
d	泉源整備